

青い森林業アカデミー 研修生募集概要

APPLICATION REQUIREMENTS

申請資格 昭和56年(1981年)4月2日以降に生まれ、研修終了後に青森県内の林業事業者等に就業を希望し、高等学校卒業または、同等程度の学力を有する18歳以上の者。

募集人員 10名(推薦7名、一般3名)

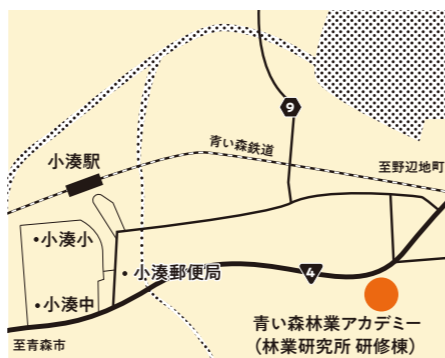
選考区分	申請期間	選考日	合格発表
推薦選考	令和5年8月21日(月)～9月11日(月)	令和5年9月24日(日)	令和5年10月3日(火)
一般選考(前期)	令和5年10月10日(火)～11月1日(水)	令和5年11月19日(日)	令和5年11月28日(火)
一般選考(後期)	令和5年12月1日(金)～1月15日(月)	令和6年1月28日(日)	令和6年2月6日(火)

注意事項：1「一般選考(後期)」は「一般選考(前期)」終了後に、定員を満たしていない場合のみ実施します。
2 推薦選考と一般選考は、併願可能です

研修期間 1年間
(令和6年4月～令和7年3月:約220日、1280時間程度)

受講料 118,800円/年
(別途作業服、テキスト代等が必要となります。)

研修施設 青い森林業アカデミー
〒039-3321 青森県東津軽郡平内町大字小湊新道46-56
(地方独立行政法人 青森県産業技術センター 林業研究所 研修棟)
交通：青い森鉄道 小湊駅下車 徒歩25分 タクシー5分
自動車 青森駅から45分
※実習は県内各地の林業現場で行います
※研修棟には、各自が通うことになります



緑の青年就業準備給付金制度について

研修終了後、1年以内に林業分野に就業し、将来的に地域林業の中核を担う意志を持っている方に対して、安心して研修に専念できるよう、給付金制度があります。

● 給付金の上限額 142万円(11か月分)
(希望者数等により上限額の給付とならないことがあります。)

● 給付金の支給要件

- ①就業にあたっては、森林組合や林業事業者で常用雇用の雇用契約を締結すること
- ②就業期間は2年以上継続して従事すること

問合せ先 TEL:017-763-4022
FAX:017-764-6239
E-mail: aomori-rin-academy@ace.ocn.ne.jp

青い森林業アカデミーHP
<https://aomori-ringyo-academy.com>



青い森林業アカデミー 第四期研修生募集



さあ、青い森で働こう

青森県

青い森の未来を担う皆さんへ

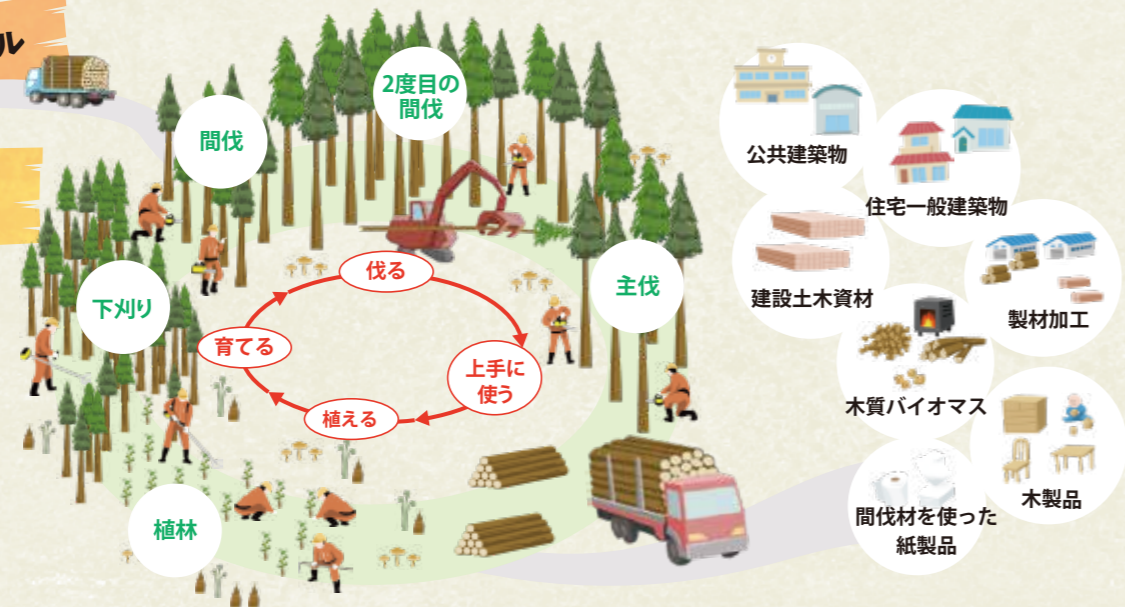
本県には、全国有数の面積を誇るスギをはじめ、青森ヒバや県南地域のアカマツなど、豊かな森林が広がっており、これらの森林資源は、先人たちが膨大な人手と時間をかけて、植林から下刈り、間伐などの手入れを積み重ねてきたことにより、十分に成熟し、現在、本格的な利用期を迎えています。

そこで県では、この豊かな森林の恵を効果的に活用するとともに、伐採後には再び植林することにより、資源の循環サイクルを確立し、100年先もこの美しい自然を守り続けていくため、地域林業の中核的担い手となる現場技術者を育成する1年間の研修として「青い森林業アカデミー」を令和3年4月に開講しました。

青い森林業アカデミーでは、安全を最優先として林業に関する基礎的な知識と技術を身に付け、就業までをしっかりとサポートします。 **さあ、青い森で働こう！**

資源の循環サイクル

SDGs



進化する林業



コンテナ苗による再造林
(効率的な手法で未来に豊かな森を届ける)



現場への女性参入
(女性の細やかさ、丁寧さが活きる)



高性能林業機械の普及
(体への負担が減少し安全性も向上)

緑に囲まれた研修施設



● アカデミー研修棟 ● アカデミー実習棟

● 林業研究所敷地内に青い森林業アカデミーがあります



アカデミー研修棟



アカデミー実習棟

青い森林業アカデミーの3つの特色



チェーンソーや林業機械など
就業に必要な資格を取得します



反復練習により就業につながる
技術と安全意識を身につけます



現場のプロ、機械のプロが
上達の秘訣をアドバイスします

取得できる6つの資格

- 1 伐木業務従事者
- 2 刈払機取扱作業者
- 3 車両系建設機械(整地等)運転(3t以上)
- 4 伐木等機械運転
- 5 走行集材機械運転
- 6 簡易架線集材装置運転

就業先

1. 植栽や下刈、伐採などを行う民間の企業
2. 地域の森林を管理する森林組合



青い森林業アカデミーの研修内容(1年間)

1 林業基礎

森林・林業・木材産業の現状や関係法令、地図の見方、樹木の見分け方等を学びます。



2 安全衛生

作業を安全に行うための基礎知識や、救命措置を学びます。



3 森林保護

病虫獣害から森林を守る基礎知識を学びます。

4 造林・育林

植栽や下刈り、除伐、枝打ち、間伐等の基礎知識を学び、刈払機やチェーンソー操作を習得します。



5 素材生産

グラップルやハーベスタ、フォワーダ等の機械操作を習得するほか、作業システムや作業道開設、コスト計算を学びます。



6 森林調査・評価

コンパス測量やGNSS測量の実習により面積の測り方や立木の価値の調べ方を習得します。また、近年林業での活用が進んでいるドローンによる森林情報データの解析などの最先端技術を学びます。



7 木材利用

丸太の流通や、木材加工、木質バイオマス関連施設、木造建築物等の歴史や現状を学びます。

8 林業経営

林業事業者や個人経営のポイントや森林経営計画を学びます。

9 資格取得

就業後に必要な資格のうち基本となる6種類の資格を取得します。

10 インターンシップ

林業事業者での就業体験を行い、林業で働くことのイメージを深めます。

11 総合

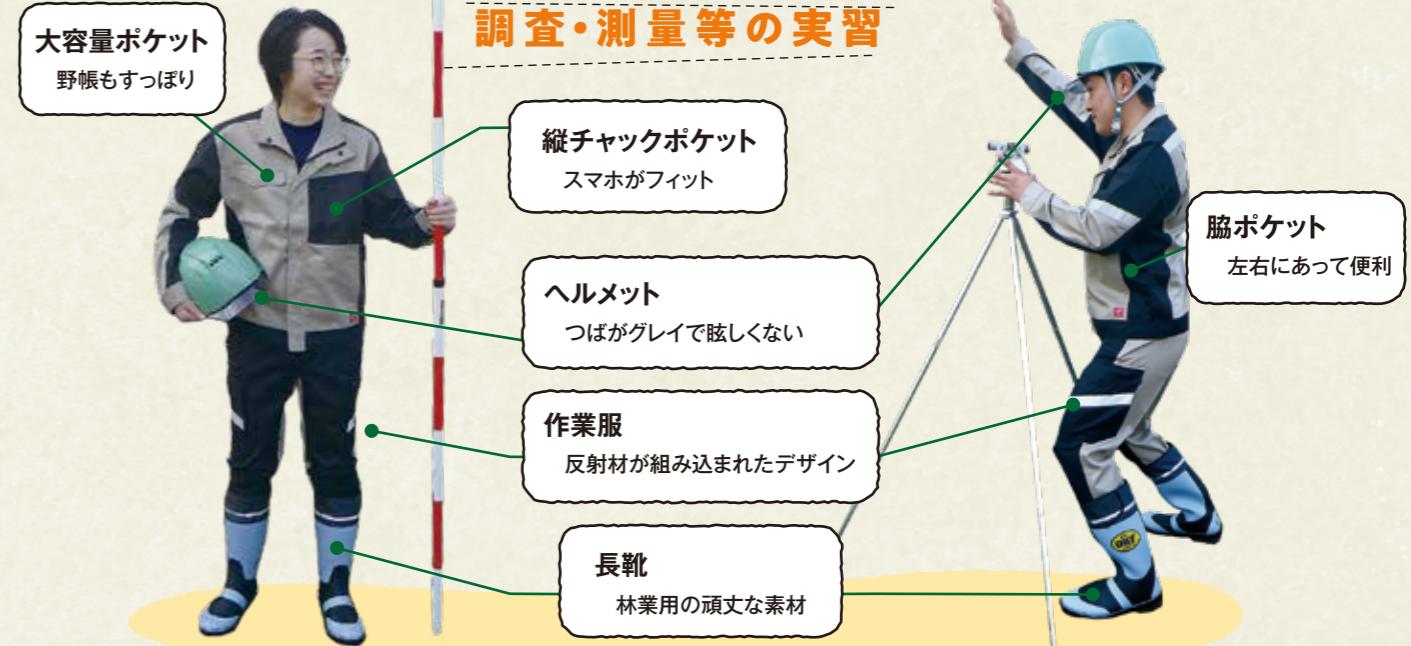
コミュニケーション能力、マナー、生活設計等社会人として必要なことを学びます。



チェーンソー実習



調査・測量等の実習



刈払機実習



小川 莉奈（森林組合あもり）

自分にとって初めての仕事なのに、最初からプロの皆様と一緒に仕事ができるのがとても嬉しいです。

最近、チェーンソー作業のほかプロセッサ作業も任せられ、アカデミーで学んだことがとても役立っていると思います。

先輩たちの判断力やスピード、テクニックがすごいので、自分も早くそのように他の人から言われるよう努力していきます。

*先輩方のコメント

基本ができていますので、教えるとすぐに自分のものにしてしまう。安心して作業を任せられることができます。



2023WLC合わせ丸太輪切り金メダル、 2022JLC総合優勝の 岡田 望選手からの応援メッセージ

令和4年5月青森市のモヤヒルズにおいて開催された「日本伐木チャンピオンシップ（JLC）」で総合優勝し、令和5年4月19日から22日まで開催された「世界伐木チャンピオンシップ（WLC）」レadies部門の合わせ丸太輪切りで金メダル、総合で第4位になった本県出身の岡田望選手からのメッセージです。

第1回JLCを見る機会があり、その時チェーンソーを操る姿がとてもカッコイイと感じ、自分もやってみたくらいと思い、林業に転職しました。

現場では、チェーンソー作業やフォワーダーによる集材・搬出作業に従事しています。

機械を扱うので安全を第一に、基本となるルールを徹底して守ることを心がけています。

この競技ルールはとても厳しいですが、結果的には現場での安全確保に活かされています。

目標にしていたJLCやWLCに出場できたのは、支援して下さった多くの方々の存在や会社の理解があったからです。

今後は、この競技を通じて林業の面白さをもっと一般の方に知ってもらう活動をするとともに、アカデミー研修生の講義や実習にもお手伝いできればと思っています。

みんなでJLCやWLCと一緒に目指し、新たな青い森を作りましょう。
(ウッドホープ株式会社 7年目)



第二期修了生に聞きました

(2023.3月修了)

片川 智貴（有限会社前田林業）

先輩からは、感覚でなく理論で説明してくれるのでとても判りやすい。気になることはいつでも聞ける環境があるので、毎日わくわくしながら失敗を恐れずいろいろなことに挑戦している。

今は、チェーンソーによる伐木造材が主体ですが、今後は重機操作も極め、技術を後輩に伝承できる林業人を目指します。

*先輩方のコメント

受け口、つる、追い口の基本はしっかりできているので安心感がある。今ほとんがく一生懸命やっており、力の抜き方を覚えもっと楽に仕事ができるようになってもらえればいいかな。



スナップショット